（様式1）　　（平成22年7月作成）

事務事業シート（実施計画事前基礎シート）

(H.21)No.		(H.22)No.	6003

事務事業名	秘書管理費

担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
	秘書室	高橋　則男	63-7252

新・継	事業期間	根拠法令等
継続	平成　　年度～ 平成　　年度	

事業区分（複数選択可）	
	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
○	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1．事務事業の位置付け

総合計画			
	政　　策	5	新しい時代を拓く自立と協働による地域経営
	基本政策	3	持続可能な市政運営
	施　　策	1	戦略的な都市経営
	小 施 策	1	戦略的行政の推進
重点施策コード			

2．予算区分

会計区分		事業コード	021001
一般会計		（中事業名）	
款	総務費	秘書管理費	
項	総務管理費	（小事業名）	
目	秘書管理費	秘書管理費	

3．事務事業の概要

事業概要

・時間単位で刻々と変化する市長・副市長等のスケジュール管理や調整。
・出席する会議等の挨拶文等の調整、情報の収集。
・議会説明の取りまとめ。
・全国市長会、東海市長会、三重県市長会に関する事務。
・市表彰事務
・来客の対応

めざす効果（事業目的）

市長、副市長の公務を効果的、効率的に行い、市民、団体、国、県等との連携を深め、市政の円滑な推進を図る。

4．総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

現在の実施手法（複数選択可）	
○	市が直接実施
	業務委託（全部・一部）により実施
	指定管理
	補助金・交付金
	その他　（　　）

	平成21年度（実績・決算見込）	平成22年度（計画・6月補正後予算）	平成23年度（計画）	平成24年度（計画）	平成25年度（計画）
主な事業の実績・計画	[事業内容（事業量）・事業費] ・交際費、食料費の適正な執行管理を行いながら、市ホームページで毎月、支出の状況を公開しています。 ・市長公務予定表を毎月、上旬・下旬に分けて公開しています。 ・旅費　1，601千円 全国市長会　5回 東海市長会　2回 他 ・分担金、負担金1，780千円 全国市長会　513千円	[事業内容（事業量）・事業費] ・交際費、食料費の適正な執行管理を行いながら、市ホームページで毎月、支出の状況を公開しています。 ・市長公務予定表を毎月、上旬・下旬に分けて公開しています。 ・旅費　1，740千円 全国市長会　5回 東海市長会　2回 他 ・分担金、負担金1，792千円 全国市長会　513千円	・旅費 全国市長会 東海市長会 ・分担金、負担金 全国市長会 東海市長会 三重県市長会	・旅費 全国市長会 東海市長会 ・分担金、負担金 全国市長会 東海市長会 三重県市長会	・旅費 全国市長会 東海市長会 ・分担金、負担金 全国市長会 東海市長会 三重県市長会
事業費①（千円）	**4260**	**4823**	**4,800**	**4,800**	**4,800**
①の財源内訳　国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他（　　）					
一般財源	4260	4823	4,800	4,800	4,800
人工数　職員（人）	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00
臨時職員等（人）	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
人件費②（千円）	**25,300**	**25,300**	**25,300**	**25,300**	**25,300**
総費用①+②（千円）	**29,560**	**30,123**	**30,100**	**30,100**	**30,100**

※人件費②は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費（市一般会計全体、共済費を含む額）を乗じた数値を記載しています。
※平成21年度の（　）内の数値は、20年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。
※特別会計、企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。
※平成23年度以降の計画（内容及び事業費）については、予定であり確定したものではありません。

5．主な事業指標と成果

事業指標名			単位	H.20（現状値）	H.21	H.22	H.23	H.24
成果指標	目標	市民の声を行政に届ける体制が整備されていると感じる市民の割合	%	-	-	-	-	72.0
	実績			70.6	72.7			
	目標							
	実績							
	目標							
	実績							
考察及び今後の対応方針		順調に目標を達成できている。 引き続き、事業を推進し、より良い成果を得られるよう努める。						

6．事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化（対象者やニーズ、法令・制度の改正等）	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見

7．担当室による点検［事務事業をより良く（最適化）するために］

（1）協働の取組（「新しい公」の推進）

①協働等は実践していますか 実践していない（適当ではない）（→④へ）	②協働等の主な相手先について
③協働等の主な形態について（現在および今後の可能性） 	④協働等の今後の取組について 市が直接実施

	備考欄
(2)（現在の事業費の範囲で）効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である。	
(3)事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である	
(4)新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保、事業に係る負担の見直しは困難である	
(5)その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である	

8．今後の事務事業の方向（点検を踏まえた担当室による内部評価）

総合評価（事業の展開方法）

継続（現行どおり）（※理由↓(2)へ）

（1）短期的な（平成22年度）事務事業の工夫・改善など

（2）継続（現行どおり）の理由、中長期的な（平成23年度以降）事務事業の工夫・改善など

市長、副市長が円滑に事務を遂行することは、市政に直結することでもあり、非常に内部的な事務である。経費については、さらに事務の簡素化等を図り、最低限の事務経費で行えるよう努力する。

特記事項